

長崎・ヒバクシャ医療国際協力会（ナシム＝NASHIM）の概要
※NASHIM=Nagasaki Association for Hibakushas' Medical Care

1 代表者 会長 森崎 正幸（長崎県医師会会長）

2 事業目的

長崎・ヒバクシャ医療国際協力会（NASHIM）は、在外被爆者及び世界各地で発生している放射線被曝事故による被災者を救済するため、長崎が有する被爆者治療の実績及び放射線被害に関する調査研究の成果を有効に活かすべく、国外からの医師等の受入研修、国外への専門家派遣及び専門図書等の発刊・寄贈などを実施し、ヒバクシャ医療を通じて長崎から世界への貢献と国際協力の推進に寄与する。（平成4年発足）

3 事業内容

- ① 医師等受入研修事業
- ② 専門家派遣事業
- ③ 講演会開催等普及啓発事業
- ④ 医学教科書等の出版事業（2年に一回実施）
- ⑤ 永井隆平和記念・長崎賞（2年に一回実施）

4 構成

長崎県医師会、長崎市医師会、長崎大学、長崎大学医学部、長崎大学病院、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、長崎大学原爆後障害医療研究所、日本赤十字社長崎原爆病院、放射線影響研究所、長崎原子爆弾被爆者対策協議会、長崎平和推進協会、長崎県、長崎市

5 令和7年度当初予算

16,150千円

国：4,900千円

県：5,625千円

市：5,625千円

6 令和7年度事業計画

① 医師等受入研修事業

原爆関係施設の視察及び長崎大学（原研）、長崎大学病院での実習等を実施。

- ・ウクライナから医師4名受入（7月8日～8月10日）
- ・韓国から医師等20名受入（10月、1月予定）

（受入研修者数）

年 度	H5 ～14	H15 ～24	H25 ～29	H30	R1	R5	R6	計
ロ シ ア	11	12	7	1	1	0	0	32
ベラルーシ	17	33	10	2	2	0	0	64
ウクライナ	13	11	4	1	1	0	0	30
カザフスタン	9	18	9	2	2	5	5	50
ア メ リ カ	1	0	0	0	0	0	0	1
韓 国	27	112	71	16	16	17	20	279
計	78	186	101	22	22	22	25	456
うち、チヨルノビリ ・カザフスタン関係	50	74	30	6	6	5	5	176

② 専門家派遣事業

- ・カザフスタンへ専門家2名を派遣 9月予定
- ・韓国へ医師等派遣 11月、2月予定

③ 普及啓発事業

- ・出前講座の開催

「ヒバクシャ医療の国際協力」や「放射線被ばく医療」等について、ナシム構成機関所属の専門家が県内の小・中学校等へ出向き、判りやすく講話することで、将来の後継者育成に繋げる。

④ 出版事業

被爆80周年事業として、調来助著「原爆被災復興日誌」（英訳）、永井隆著「原子爆弾救護報告」（英訳）の増刷。